

.NET Architecture Forum

SQL Server Reporting システム集中講座

新連載

Reporting Servicesの概要

百田 昌馬 *HYAKUTA, Shoma*
<http://www.ittraining.jp/>

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

Level



Samples

SQL Serverの レポート機能

Reporting Servicesは、SQL Server 2000の標準機能として2004年2月に提供されたWebベースのレポートングツールである。帳票や商品カタログ、クロス集計、グラフといった各種レポートをGUIベースで手軽に作成でき、作成したレポートはWebブラウザから参照できる。そのほか、レポートをExcel/PDF形式へエクスポートする機能や、Webサービス経由でのレポートアクセス、電子メールや共有フォルダへのスケジュール配信、Accessレポートのインポート、レポートのキャッシュ機能なども備えている。

連載の第1回目となる今回は「Reporting Servicesの概要」について解説する。次回は「データ分析レポートの作成手順」、次々回は「Webサービスを利用してWindowsフォームにレポートを埋め込む方法」について説明する予定だ。

Reporting Servicesとは

Reporting Servicesは、レポートの作成/管理/配布が行なえるWebベースのレポートングツールである。SQL Serverと同一マシンにインストールする場合には追加のライセンスは必要ない。別マシンにインストールする場合でもSQL Serverのライセンス（プロセッサまたはサーバーライセンス）を追加購入するだけでよい。

Reporting Servicesの一番の特徴は、図1のような単純な帳票/商品カタログ/クロス集計/グラフレポートであればGUIベースで簡単に作れる点である。また、レポートの参照はWebブラウザさえあればよい（Webサービスを利用すればカスタムアプリケーションからも参照可）。現在マイクロソフトのWebサイトにはReporting Servicesで構築されたデモサイト（<http://sqlrs.jp>）があり、Webブラウザからのレポートの使用感を体験できるのでぜひアクセスしてみてください（図2）。また同サイトでは、サイト上で公開しているレポー

図1: Reporting Servicesのレポート作成機能

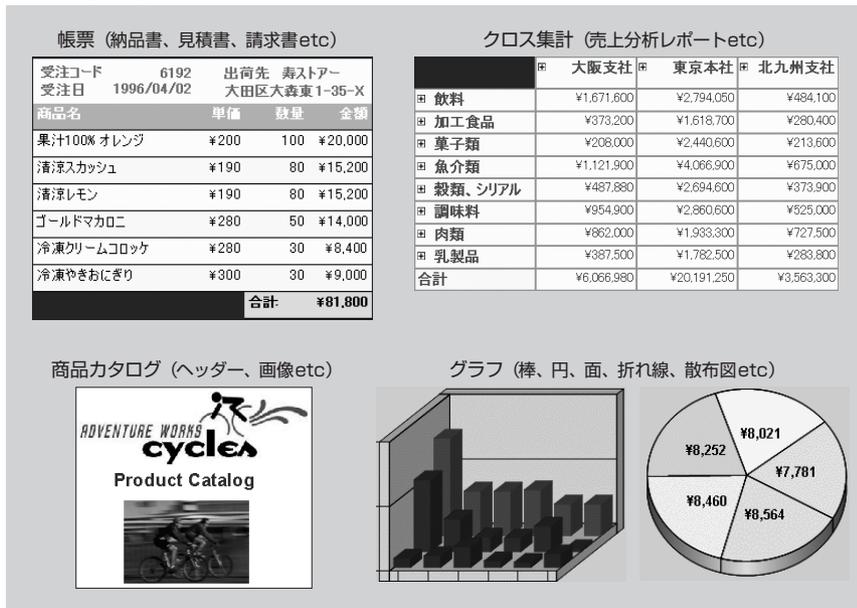


図2: マイクロソフトの提供するReporting Services体験サイト



トの作成手順をステップバイステップ形式で丁寧に解説した「自習書」も用意されているので、ダウンロードしておくといだろう。

必要なソフトウェアとコンポーネント

表1はReporting Servicesを利用するために必要なソフトウェア、図3はインストール時のコンポーネント選択画面で

ある。

Reporting Servicesのレポート作成ツールは「レポートデザイナー」と呼ばれ、Visual Studio .NET 2003に統合されている。レポート作成にはほかのソフトウェアは必要ないので、開発マシンにはVisual Studio .NET 2003だけを入れておけばよい。

レポートデザイナーで作ったレポートは、「レポートサーバー」へ配置することで、WebブラウザやWebサービスクライアントからアクセス可能になる。このレポートサーバーは、ASP .NET 1.1で実装されているので、レポートサーバーをインストールするには、IIS (Internet Information Services)

5.0以降と.NET Framework 1.1が必須になる。またレポートサーバーには、レポートに対するキャッシュ機能やセキュリティ設定、履歴 (ある時点でのスナップショット) を保存する機能、電子メールや共有フォルダへのスケジュール配信機能もあり、これらの設定情報を格納するためにSQL Server 2000 Service Pack 3以降のデータベースサーバーが必要になる。

レポートサーバーにはVisual Studio .NET 2003をインストールしておく必要はないが、インストールしていない場合は、Reporting Services インストール時のシステム前提条件の確認画面で「Visual Studio .NET 2003がインストールされていません」という警告が表示されてしまう (図4)。しかし、この警告はあくまでもレポートデザイナーに対する警告なので、レポートサーバーのみをインストールする場合は、無視して [次へ] をクリックしてよい。

SP1、Books Onlineのアップデート

現在、Reporting ServicesにはService Pack 1が提供されている。

<http://www.microsoft.com/japan/sql/reporting/>